

みんなの力を結集し 経営とくらしを守ろう

7月5日に、ネット事務局会議が開かれました。

口蹄疫の状況報告では、患畜・疑似患畜・ワクチン接種の牛・豚など約17万6千頭殺処分・埋却が6月30日に完了して、終息に向けて一部移動制限解除が7月2日に都城市、7月3日に日向市と進んでいた所へ、清浄化に向けた検査で口蹄疫疑いの牛が宮崎市内で発見された事が報告されました。これによる、終息宣言の延期が、畜産農家をはじめ関連産業などに不安を与えている事が話されました。

宮商連からは、会員の深刻な実態が報告されました。セーフティネットの手続きを行ったが借り入れが出来ずに、生活保護申請を行ったケースが報告され、口蹄疫が営業とくらしに甚大な被害をあたえ、拡大し続けていることが話されました。

国・県・自治体への要請については、7月1日の口蹄疫対策本部への要請で、「基金」については、内閣府が中心となって協議するため、口蹄疫対策本部だけでは不十分な事が分かりました。そこで、事務局団体では、内閣府に対しての要請を行っていくことを確認しました。また、県・自治体に、独自の「基金」を設ける要請を行う事にしました。

「口蹄疫110番」については、6月28日以降に1件あったことが報告され、その1件は「東国原知事の対応に腹が立つ」という怒りの電話だった事が話されました。「口蹄疫110番」は6月17日から今日まで9時～21時の対応を行ってきたが、7月12日より9時から18時に変更して継続することを確認しました。

農協へ絵手紙配布については、新婦人に届いた応援の絵手紙を、新婦人のみなさんで模造紙に張り付け作業を行っています。次回の事務局会議に日程を決定し、絵手紙を持って激励に行くことを確認しました。

義援金について、7月5日現在で総額 343,573 円が集まっていることが報告されました。義援金については、県・自治体へ届けていくなどの討議を行いましたが、県・自治体の義援金では、畜産農家に限定される可能性があるため、早急に結論を決めずに、各団体での討議を行うことにしました。

口蹄疫義援金

心温まる義援金を賜り、誠にありがとうございます。

全農協労連青年部より、義援金の振り込みがありました。

義援金総額は、343,573円になりました。



新婦人(宮崎県本部)
に届いた絵手紙



口蹄疫対策県民ネットワーク(事務局)
〒880-0911 宮崎市大字田吉158番地
宮崎県農民組合連合会内
TEL0985-55-0399